

小学校 第5学年 社会科 学習指導案

北海道北見市立三輪小学校
主幹教諭 佐野 正樹

単元名 日本の工業生産の今と未来（8時間）

**単元の
ねらい**

- 我が国の工業生産の概要や、工業生産が国民生活の向上に重要な役割を果たしていることを理解するとともに、地図帳や地球儀、統計など各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 我が国の工業生産の概要や特色、工業生産が国民生活に果たす役割を多角的に考える力、工業生産に見られる課題を把握してその解決に向けて多角的に考える力、考えたことを説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。
- 我が国の工業生産の概要や特色について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、我が国の産業の発展を願い我が国の将来を担う国民としての自覚を養う。

**本時の
ねらい**

日本の自動車の海外生産の広がりに着目して、海外生産が増えている理由や、その影響について多角的に捉える。（第5時）

指導時期

11月中旬～下旬


指導者用デジタル教科書(教材)活用の意図・目的

「日本の工業生産の今と未来」は、各種資料を関連付けたり、学習したことを総合的に捉えたりして、消費者や生産者の立場から多角的に考える単元である。

これまでの授業では、紙の教科書を用いて各種資料を実物投影機で提示してきた。その際、必要な資料のみを提示することが難しく、児童は余計な資料に気をとられ情報を読み取ることが難しいことがあった。

「指導者用デジタル教科書(教材)」のよさとして資料提示のしやすさがあげられる。教科書の必要な資料のみを提示することや、比較したい2つの資料を提示することも簡単にできる。このような利点を活用することで、児童がその場面での学習に不必要な情報に惑わされることなく思考することができ、それは全ての児童にとって学びやすい環境づくりにつながると考えられる。

本時(第5時)の展開

	活動内容	デジタル教科書・教材の活用
導入	<ul style="list-style-type: none"> ● 「指導者用デジタル教科書(教材)」の初期画面を開いてコンテンツを起動する。 	 <p>The screenshot shows the digital textbook interface. On the left is a cover image for '指導者用' (Teacher's Edition) of the '小学5 社会' (Elementary School 5 Social Studies) textbook. On the right is a navigation menu with buttons: '最初のページを開く' (Open first page), 'おわる' (End), '目次を開く' (Open table of contents), '本だなへ戻る' (Return to bookshelf), and '前回の続きを開く' (Open previous page). There is also a search bar and a settings icon at the bottom right.</p>

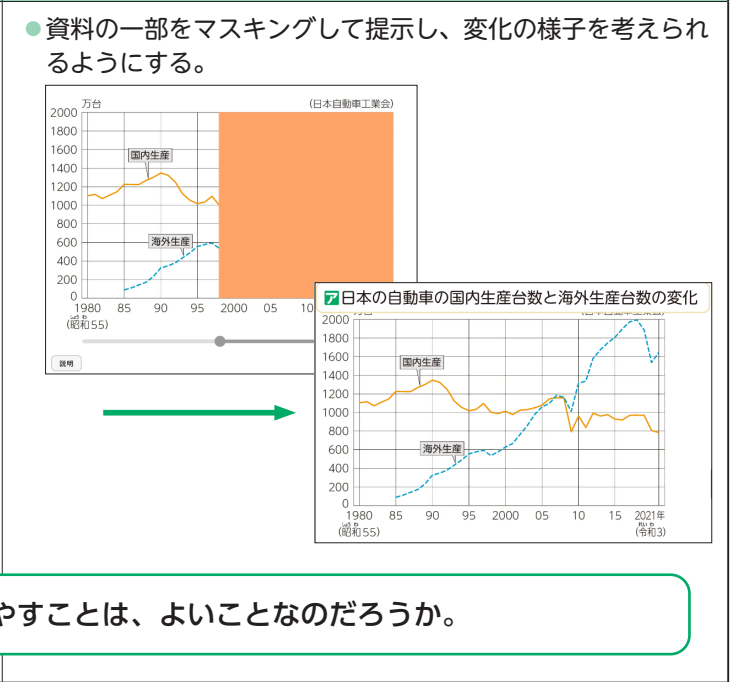
導入

- 「資料ア 日本の自動車の国内生産台数と海外生産台数の変化」のグラフを読み取り、気付いたことを話し合う。
- 海外生産の意味を確認する。
- 海外生産の影響について問い、そのメリットとデメリットについて簡単に予想をする。

T：海外生産の変化には、どのようなよい点や悪い点がありますか。

C：国内生産が減っていくことは、日本にとってよくないのではないか。

C：外国は物が安いから工場が増えているのかな。



自動車の海外生産を増やすことは、よいことなのだろうか。


展開

- 海外生産台数が増えた理由を、資料から読み取り、話し合う。
- T**：なぜ海外生産が増えたのか、資料をもとに話し合みましょう。
- C**：アジアや北アメリカでの生産台数が多いね。
- C**：輸送する費用が安くなるよ。
- C**：現地の人にすぐに届けられる。

インドにある、日本の自動車会社の工場

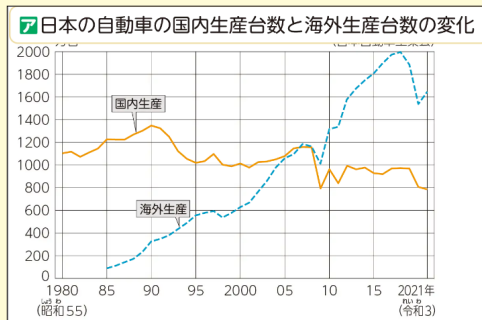
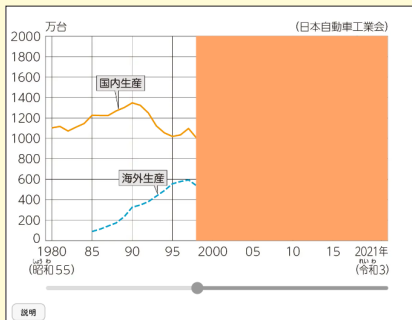
世界に広がる日本の自動車会社の工場と、各地域での生産台数

●思考ツール（クラゲチャート）を活用し、理由を整理する。

	活動内容	デジタル教科書・教材の活用
展開	<ul style="list-style-type: none"> ● 世界に広がる日本の自動車会社の工場や海外生産の様子を資料から読み取り、整理する。 ● 動画は一齐に視聴し、メモを取る。他資料は、それぞれで読み取る。 <p>T：動画を視聴したり、青山さんの話を読みだりして、わかったことや思ったことを書きましょう。</p> <p>C：災害で生産が止まることもあるんだね。</p> <p>C：その国の人にとって働く場所が増えることはいいことだね。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 「指導者用デジタル教科書（教材）」に掲載されている動画にアクセスし、視聴する。  <ul style="list-style-type: none"> ● モニターに「青山さんの話」を提示し、資料の読み取りが苦手な児童が、足がかりとして参考にできるようにする。 <div data-bbox="805 833 1476 1288"> <p>インドの工場に働いていた青山さんの話</p> <p>はじめは、言葉や習慣がちがう人たちと働くなかで、とまどうこともありました。相手の考えをよくきいて、その国に合った仕事のしかたを取り入れるように努め、生産を進めてきました。</p> <p>海外の現地で生産することで、生産や輸送などにかかる費用をおさえ、売り上げをのばそうと、多くの日本の会社が海外に進出しています。ただ、日本の技術が海外に流出してしまったり、思いがけない災害や事件が起きて製品が予定どおりに生産できなくなったりする心配もあります。</p> </div>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ● 海外生産が増えることのメリットとデメリットについて話し合い、学習のまとめをする。 	<div data-bbox="244 1429 1465 1541" style="border: 1px solid green; padding: 10px;"> <p>海外生産を増やすことは、生産の費用が抑えられたり、現地の人々の働く場の確保になったりするよさがある。一方で、技術の流出につながったり、思わぬ災害で生産が止まったりする不安もある。</p> </div>

指導者用デジタル教科書(教材)を活用したことで得られた効果

「指導者用デジタル教科書(教材)」を活用し、資料の一部をマスキングした上で提示した。少しずつマスキングをスライドさせることで、児童がいつもより集中して資料の変化の様子を読み取ろうとしたり、自分なりの根拠をもって予想したりすることにつながった。



授業の導入の段階で、誰もが考えることができる活動を取り入れることによって、児童の興味・関心を高めた状態で授業を開始することができた。また、このスライドさせて提示する方法を繰り返していくことは、児童にとって時期や時間の経過によってどのような変化が起こってくるのかという社会科の見方・考え方をはたらかせることにつながり、ねらいとする資質・能力を高めることにつながる。そして、教材研究(授業準備)にかかる時間が短くなったことも、教師にとって大きなメリットである。

P よいところ	M よくないところ	I 気になるところ
---------	-----------	-----------

本時の授業は、「PMI」を使って授業のまとめをすることも考えられる。「指導者用デジタル教科書(教材)」のツールバーには、「思考ツール」として入れられているので、すぐに活用することができるほか、他の「思考ツール」と比較しながら使用することもできる。

この時間の問い — 増え続ける海外生産

どうして日本の工業は海外に生産を移してきたのだろう。

工場だけで生産を進めている各国に工場をつくり、現地で

さらに、日常的に教科書資料を用いて授業をする教師にとっては、教科書の内容を深く研究することは欠かせない。「指導者用デジタル教科書(教材)」では、教科書本文と資料のいずれかをマウスオーバーすると、対応する資料または本文がハイライト表示される。これによって、本文と資料の関係がひと目で理解でき、どの順序で資料を扱ったらよいか、授業の構想がしやすくなることもメリットとして考えられる。